

核兵器のない平和で公正な世界のために 原水爆禁止2015年世界大会

広島と長崎に原爆が投下されてから今年で70年になります。毎年、世界大会へ代表を送り出していますが、今年は見須友海さん（小学5年生）と矢沢茂子さん（城南ドルフィン）の2人が、長崎大会に参加しました。

原水爆禁止世界大会 長崎に参加して

矢沢茂子

今回初めて、品川代表団として城南ドルフィンよりの見須友海さんと一緒に、原水爆禁止世界大会「長崎に参加してきました。

被爆者の方から直接話を聞くことができ、それらの体験や思いを今後も引き継いでいくこと

者の方の話が心に残りました。2日目は「少女少女平和のつどい」に参加しました。全国から集まった100人の子どもたち、被爆遺構を歩き、すいどんや雑炊を食べ、被爆体験を聞きしました。

大会最終日の9日、午前11時2分に行ったダイ・イン（die in）犠牲者に擬して大地に横たわり抗議の表明をする示威行為。1960年代に核軍備に反対して米国の市民グループがはじめたでは、原爆の炎と照り



被爆クスノキの前で

たわりの抗議の表明をする示威行為。1960年代に核軍備に反対して米国の市民グループがはじめたでは、原爆の炎と照り



「少女少女平和のつどい」被爆について学びました

つける太陽の中で死んでいった人びとのことを実感させられました。ここに集った子どもたちの、

自分の意見を持つ姿を頼もしく思い、またさらに体験と意思をつなげていく大切さを感じました。

反核フェスティバル

西品川支部では、8月の原水禁世界大会に派遣する代表の紹介と派遣資金づくりなどのために、毎年、反核フェスティバルを開催しています。今年も三ツ木診療所の屋上で、7月21日（火）に行いました。

地域の患者さん、西品川支部の組合員、三ツ木グループの職員など50人が集まりました。世



安倍首相のお面を付けて出し物を

界大会に参加する、三ツ木診療所職員の阿部さんのあいさつと、新事務長の等原さんが紹介されました。その後、三ツ木歯科職員による南京玉すだれや三ツ木グループを中心とする職員が、安倍首相のお面を着けた出し物を披露。安倍首相によく似たお面でみんな拍手喝采。最後は、みんなで品川音頭などを踊ってお開きに。参加者は、ビールなどをさるおし、実行委員会を用意した料理をほろぼり、楽しんでいました。8月25日（火）には、原水禁世界大会の報告会を三ツ木診療所で行います。

大田病院でも7月28日（火）に、病院前の駐車場で反核フェスティバルが開催されました。

城南福祉医療協会の新理事長に 千田宏司医師が就任



1949年、大田病院の前身である「教員診療所」が開設され、66年が経過しました。城南福祉医療協会は、多くの地域の人たちに支えられ、大田病院、5医科診療所、2歯科診療所、3訪問看護ステーション、2地域包括支援センターへと大きく成長しました。

5年前の新大田病院建設時のMRI（核磁気共鳴画像法）の導入、2年前のゆたか診療所新

築移転時には多大な力添えをいただき、地域の持つ素晴らしい力に驚きました。現在、城南保健生協は約2万人の組合員さんに支えられています。私たち職員は、地域の皆さんが安心して利用していただけるよう、日々研鑽し、切磋琢磨し、その期待に応えていきたいと思っています。若い職員の意欲あふれる外部研修を応援し、新しい知識・技術を学び、医療のレベルアップを図っています。地域の人たちが病気や加齢により生活が困難となった時、在宅医療や介護サービスを受けつつ、住み慣れた地域でくらすよう日常の目線に立った実際の

な「地域包括システム」を構築し、新たな施設展開も考えます。地域の皆さんとともに、その福祉や医療の仕組みづくりをつくりあげていくことが私たちの役割だと考えています。また、現代の日本においては、進歩した医療により病気を治し、命を救うと同時に、高齢化社会を迎える中で、健康寿命をいかに伸ばしていくかが重要な課題となっています。それには、予防医療や地域での健康増進の取り組みが鍵となります。がん予防と早期発見、動脈硬化予防、認知症予防に力を入れて取り組みます。大田区では、今年度から特定

健診だけでなく、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診も診療所での施行数に制限がなくなりました。大腸がん、肺がんなどの発生率は増加傾向にあり、定期検診により早期発見し治療することができるようになりました。地域の皆さん、組合員さんは積極的に検診を受けていただくようお願いします。

大田病院に差額ベッドはありません。2009年からはじまった、経済的理由で医療を受けられない患者さんへの無料低額診療事業も、多くの患者さんに利用していただいています。最後に、もっとも健康を阻害し、命を粗末にする最悪の戦争法案、戦争の片棒を担ぐことになる辺野古基地建設に対しては、医療者として断固反対していきます。

支部からの夏便り

なかしんまつり

7月18日（土）、大森・糀谷支部主催で「なかしんまつり」が行われました。今年で10回目を迎えます。場所は大森中診療所裏の公園。今年は、風が強く、時折雨が落ちてくる

不安定な空模様でした。それでも、おまつりがはじまると、近所の子どもたちや、通りがかりの家族連れなどが来てくれ、楽しい時間を過ごしました。11月7日（土）には、なかしんバザーを行います。お楽しみに！

全国鵜の木まつり

7月25日（土）、「全国鵜の木まつり」が開催されました。全国の「鵜の木」という地名を持つ地域の方々が、大田区の鵜の木に集まり、各地の物産展などが行われます。

この日は、猛烈な暑さで、熱中症が気分が悪くなる方もいましたが、救護所としてのき診療所・うのき訪問看護STがま



子どもたちと楽しく交流



猛暑のなか健康チェック

六郷支部納涼会

8月4日（火）、京浜診療所2階で納涼会を行いました。31人の参加でした。

京浜診療所の今井所長の挨拶、生協理事の江部さんの乾杯でスタートしました。毎年、平



出題する佐藤弁護士

第8回「大田くらしのなんでも相談会」のお知らせ

法律・生活・労働・医療などどんな相談でも受けられます。この相談会は2カ月に1回、第3水曜日に定例で行っています。

日時：9月16日（水） 13:30～15:00

場所：JR蒲田駅西口

問い合わせは、大田社保協事務局（城南保健生協内）3762-0266まで

和への願いを込めてこの納涼会を行っています。今年も、東京南部法律事務所の方針士・佐藤誠一先生をお招きして「憲法クイズ」を行いました。そして、組合員の山城さんのサンシン演奏や、参加者全員の一言など、今年も大いに盛り上がりしました。この納涼会の会費の一部を原水禁大会参加のためのカンパとしています。